



早生で穂発芽に強い日本麺用小麦新品種

ふくあかり

“Fukuakari”, A New Noodle-Quality Wheat Cultivar

収穫期が梅雨にあたる国産小麦では、しばしば穂の状態のまま発芽する「穂発芽」が発生し、品質が低下してしまいます。「ふくあかり」は早生で穂発芽に強く、日本麺（うどん）の加工適性も優れた小麦新品種です。

「ふくあかり」の栽培特性

- 「農林61号」より4日程度早生で、稈長は短く耐倒伏性に優れ、多収です。
- 穂発芽耐性は「農林61号」と同程度に強く、福島県で栽培されている早生の日本麺用品種「アブクマワセ」より優れます。
- 栽培適地は南東北～関東・東海地域です。福島県の浜通り及び中通りにおいて普及が見込まれています。

	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	収量 (kg/a)	耐倒 伏性	穂発 芽性
ふくあかり	6.6	81	67.9	やや強	難
農林61号	6.10	98	51.2	やや弱	難

「ふくあかり」の品質特性

- 「ふくあかり」の小麦粉は、やや低アミロース含量のため、日本麺に加工したときの食感（かたさ、もちもち感、滑らかさ）が優れています。

	めんの評価点数				
	めん色 (20)	外観 (15)	食感 (50)	味 (15)	合計 (100)
ふくあかり	12.3	10.8	38.2	10.7	71.8
農林61号	12.3	10.1	34.8	10.2	67.6



株（左：ふくあかり 右：農林61号）

名前の由来

- 地域農業、地場産業、消費者に「福」をもたらし、小麦振興の兆しとなることを願ったものです。

作物研究所 麦研究領域

問い合わせ先：企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://nics.naro.affrc.go.jp/>